

第 3 種公認審判員講習会実技基本動作

投球判定	指 導 の ポ イ ン ト
(1)マスクの着用	※捕手席外で、原則として打者の反対側の横で身に着ける。
(2)プレイボール	※投手が投手板に立ったとき、右手を開いて高く挙げ、手のひらを前に向け「プレイボール」のコールとゼスチュアをする。
(3)投球判定	
①構え	※原則として本塁の中心よりインサイドになるよう、両足は肩幅より広く開き、打者側の片足をやや前方にして、投手の投球動作にあわせ腰を落とし、ストライクゾーンの上限に視線を置き、捕手に近づいて構える。
②ストライクの宣告	※「ストライク」とコールしながら立ち上がり、右手の肘を肩より少し上にあげてハンマーポジションを作る。このとき、肘に力が入らないようにする。左手は身体前面のベルトの上で軽く握る。足の位置は、そのままでもいいが、閉じてもいい。
③ボールの宣告	※必ず構えたままの姿勢で、「ボール」とコールしたあと、 <u>ゆっくりと（しばらく投球を見た姿勢を動かさない）</u> 立ち上がる。
(4)ボールカウントの表示	※マスクを着用し、両手を頭上より高く挙げて、左手の指でボールの数、右手の指でストライクの数を示し、初めにボールの数を、次にストライクの数にコールしながら回す。 立ったままの姿勢で、随時示すように留意する。
(5)タイムの宣告	※ホームベースの前に出て、左手でマスクをとり、両手を挙げて「タイム」とコールする。

位置	基本動作	指 導 の ポ イ ン ト
1.球審	(1)プレイの再開	※右打者の場合は右手で、左打者の場合は左手で、手のひらを揃えて軽く前方に伸ばしながら、「プレイ」とコールする。
	(2)一塁線に転がる打球 (ファウルボール)	※マスクを左手で取り、ライン際の打球（ゴロ）を追って近づき、ファウルラインをまたいで止まって見極める。 ※打球の方向へ向き、腰は落とさず立ったまま、両手を開いて高く挙げ「ファウル」のコールとゼスチュアをする。
	(3)プレイの再開	※右打者の場合は右手で、左打者の場合は左手で、手のひらを揃えて軽く前方に伸ばしながら、「プレイ」とコールする。
	(4)チェックスイング (右打者が振っていない状態) ↓ <一塁塁審へ確認>	※マスクを左手で取り、一歩横へ踏み出し、右（左）打者の時は一塁塁審（三塁塁審）に、右手の手のひらを揃えて軽く前方に伸ばしながら、「スイング？」とコールする。（求められた一塁塁審は「ノー」で応答） ※球審は塁審の判定に基づき、次の投球前に「ボールカウント」を表示・コールする。（マスクを着用し、1 ボール（左手）1 ストライク（右手）と表示・コールする）。
	(5)三塁線に強い打球 (フェアボール)	※球審はマスクを左手で取り、右へ素早く移動してファウルラインの延長線に立つ。 ※球審は腰を落とした低い姿勢で打球を確認し、立ち上がり右手人差し指

		でフェア地域を示す（フェアのコールはしない）。
位置	基本動作	指 導 の ポ イ ン ト
2.一塁	(1)無走者で内野ゴロ (6→3:アウト)	※構えた場所より、塁から 5.5mの距離に移動し送球のコースに対して 90 度の位置に移動して止まり（両足の幅は肩幅）、送球を見定める。両手を握り、両足の大腿の付け根付近に軽く添え、プレイを真正面に見る。 ※「アウト」とコールし、左手を身体前面のベルトの上に当て、右手の肘を肩より少し上にあげてハンマーポジションを作る。このとき、肘に力が入らないようにする。
	(2)無走者でライトゴロ (9→3:セーフ)	※ファウル地域に送球から 90 度の位置に移動して、止まって構えてしっかり見て判定する。 ※手のひらを下に向け、両手を胸の前面で肩の高さまで持ち上げる。両腕を真横に水平に伸ばしながら、短く「セーフ」とコールする。
	(3)走者の離塁アウト	※素早く数歩前に出て「ボールデッド」のコールとゼスチュアをし、離塁した走者を右手で指さし「ランナーアウト」のコールと、アウトのゼスチュアをする。
	(4)無走者で悪送球が場外に出る (4→3)	※ファウルラインの内側へ移動し、止まって構える。その後、境界線近くまで走って、ボールが出たのを確認する。 ※「ボールデッド」のコールとゼスチュアをし、その後内野地域に向いて、右手を高く挙げ 2 本の指を立て「ツーベース」とコールする。
3.二塁	(1)センターフライ	※塁審は打球を横から見えることのできる方向へ追って、停止して確認し判定する。捕球を確認して「アウト」のコールとゼスチュアをする。
	(2)一塁走者が二塁へ盗塁（セーフ）	※二塁でタッチプレイを見る 3.5mの位置に素早く動き、走路に対して 90 度の位置で止まってタッチプレイに備える。 ※捕球と触球を確認後、「セーフ」のコールとゼスチュアをする。
	(3)走者 1 塁でショートゴロ (6→4:アウト)	※塁から 5.5mの距離で送球のコースに対して 90 度の位置に移動し、止まってプレイを真正面に見て「アウト」のコールとゼスチュアをする。
4.三塁	(1)レフト線の際どい打球 (フェアボール)	※際どい打球を追って、ファウルラインをまたぎ、止まってよく確認する。 ※立ち上がり右手人差し指でフェア地域を示す。（コールはしない）。 ※ライト線の際は、左手人差し指でフェア地域を示す。
	(2)走者二塁でライト線付近へのフライ。走者は三塁へスタートし、タッチアウト	※ファウル地域を三塁線に沿ってコーチズボックスの本塁側まで動き、止まって外野手の捕球と二塁走者のタッチアップを確認する。 ※フェア地域の走路に対して 90 度、塁から 3.5mの位置へ移動し、止まって捕球と触球を確認後、「アウト」のコールとゼスチュアをする。
	(3)インターフェア 二塁走者によるショートへの守備妨害	※素早くフェア地域へ移動し、止まってプレイを見極め、「ボールデッド」のコールとゼスチュアをする。 ※妨害した走者を右手で指さし「インターフェア・ランナーアウト」のコールとゼスチュアをする。

※なお、下記項目についても実技の事前研修の中で指導を十分行ってください。

(1)インフィールドフライの事前了解と解除のシグナル

(2)ディレードデッドボールのシグナル

①不正投球 ②打撃妨害 ③球審が捕手の塁への送球を妨害 ④走塁妨害など

(3)打者走者の 3 フットレーン違反を判定する球審・塁審の動き

(4)バントに対する一塁判定の位置